

令和3年度特定侵害訴訟代理業務試験

論点 [事例問題1]

問1 起案

- 1 請求の趣旨に対する答弁
- 2 明細書の記載を踏まえた特許請求の範囲の用語の解釈と被告製品との対比
- 3 特許法101条2号の間接侵害に固有の抗弁とその当てはめ
- 4 先使用権が認められる範囲とその当てはめ
- 5 進歩性に係る特許無効の抗弁における相違点についての引用発明の適用の論理付け

問2 小問

- (1) ア 意思と表示との不一致の類型（錯誤、詐欺）
 - イ① 動機の錯誤に基づく意思表示の取消し
 - ② 第三者の詐欺による意思表示の取消し
- (2) ア 共同訴訟の類型
 - イ 特許権侵害訴訟に係る共同訴訟の管轄
 - ウ 共同訴訟における主張共通と証拠共通